

全日制 県立岩槻北陵高等学校（普通科）

令和4年度入学者選抜

選抜の基本方針

- (1) 第1次選抜においては、学力検査と調査書の記録に大きな差を設けずに選抜することとし、第2次選抜及び第3次選抜においては、調査書の記録を重視した選抜を行う。
- (2) 面接を実施し、高校生活に向けた意欲・目的意識等を積極的に評価する。
- (3) 調査書の「特別活動等の記録」については、実績だけでなく活動への参加状況も含め総合的に評価する。

選抜資料

○学力検査の扱い				……………	[500点]
○調査書の扱い	学習の記録の得点	1年 2年 3年 (1 : 1 : 2)	……………	(180点)	} …… [320点]
	特別活動等の記録の得点		……………	(100点)	
	その他の項目の得点		……………	(40点)	
○その他の資料	面接			……………	[50点]

一般募集

●第1次選抜（60%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③面接	④合計
500点	480点	100点	1080点

●第2次選抜（30%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計
500点	720点	200点	1420点

●第3次選抜（10%を入学許可候補者とする）

第2次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、調査書の「特別活動等の記録」「その他の項目」及び「面接」の得点で選抜する。

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（100点）】

○学級活動・生徒会活動・学校行事

*例えば、以下の区分により得点を加算する。

- 区分A 生徒会長、生徒会副会長、学級委員2ヶ年以上など
- 区分B 生徒会書記、生徒会会計、全校規模の委員会委員長、全校規模の委員会副委員長、学校行事委員長、学級委員1ヶ年など
- 区分C 生徒会役員、全校規模の委員会委員、各種議長、各種副議長、学校行事副委員長など
- 区分D 学級の係など

○部活動

*例えば、以下の区分により得点を加算する。

- 区分A 関東大会以上、県選抜選手、関東コンクール及び関東展入選入賞など
- 区分B 県大会以上、地区選抜選手、県コンクール及び県展入選入賞など
- 区分C 都市大会優勝、県コンクール及び県展出場出品、部長、委員長など
- 区分D 都市大会入賞、地区コンクール及び地区展入選入賞、副部長、副委員長など
- 区分E 部活動参加の実績など

☆武道での有段者については得点を加算する。

【その他の項目の得点（40点）】

○総合的な学習の時間の記録

*特に顕著な活動がある場合に得点を与える。

○資格など

*以下の資格を取得している場合に得点を与える。

英語検定5級以上、数学検定5級以上、漢字検定5級以上、珠算検定4級以上、暗算検定4級以上など

○ボランティア活動など

*特に顕著な活動がある場合に得点を与える。

第2 志望

なし

その他

第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。

全日制 県立岩槻北陵高等学校（普通科）